

# 防災だより

平成24年10月発行

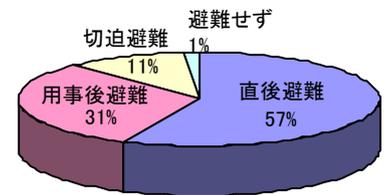
第5号

## 東日本大震災における避難行動について

国は、岩手県、宮城県、福島県で避難をされている870名の被災者の方に、津波避難に関する調査を実施しました。

### 1. 地震の揺れがおさまった後の避難行動

直後避難	57%：揺れがおさまった直後ですぐ避難した人
用事後避難	31%：揺れがおさまった後、何らかの用事を終えて避難した人
切迫避難	11%：揺れがおさまった後、すぐには避難せず何らかの行動をしている最中に津波が迫ってきて避難した人
避難せず	1%：高台など避難の必要がない場所にいた人



### 2. 直後ですぐ避難した人（直後避難）の理由

「大きな揺れから津波が来ると思ったから」

「家族または近所の人から避難しようといったから」

「近所の人から避難していたから」「津波警報を見聞きしたから」などの理由がありました。

これらの理由から地域における避難の呼びかけなどが避難を促す大事な要因となること  
がわかります。

### 3. 何らかの用事を終えて避難した人（用事後避難）の理由

「家族を探しにいったり、迎えにいったりしたから」

「自宅に戻ったから」などの理由がありました。

これらの理由から「家族を探す」「自宅へ戻る」といった行動が迅速な避難行動を妨げる  
要因となっています。

### 4. 何らかの行動している最中に津波が迫ってきて避難した人（切迫避難）の理由

「過去の地震でも津波が来なかったから」

「津波のことは考えつかなかったから」などの理由がありました。

これらの理由から津波への意識が低い傾向が見受けられます。

過去の調査でも、地震発生時に避難しない人が多いことがわかっています。

東日本大震災では、避難の遅れや避難のしかたが生死の分岐点になったと考えられます。

「地震＝津波、すぐ避難」を忘れずに、日頃から安全な避難経路、近くの高台、津波避難ビルなどを地域のみなさんと一緒に確認しておきましょう。

## 南海トラフの巨大地震による津波高・浸水深の地図の公表について

市では、国から配布された南海トラフの巨大地震による津波高・浸水深の地図（ケース1）を公表しています。今回公表している地図は、津波を引き起こす津波断層モデルとして示された11ケースのうち、県内の合計浸水面積が最も大きいとされるケース1の地図になります。平成25年6月には、県が第4次地震被害想定を策定し、あらためて詳細な地図が公表されます。今回公表している地図は今後変更になる可能性がありますので、あくまで目安としてください。

下田市ホームページアドレス <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>

## ～東日本大震災を忘れない～支援活動パネル展のお知らせ

市では、県下一斉に実施される11月の地震防災月間に伴い、11月13日（火）から30日（金）まで市役所西館市民課ロビーにて「～東日本大震災を忘れない～支援活動パネル展」を開催します。防災グッズや南海トラフの巨大地震に関する最新情報なども展示します。

## 地域防災訓練に参加しましょう！

12月2日（日）は、県下一斉に自主防災会を中心とした地域防災訓練が実施されます。東海地震、南海トラフの巨大地震など予想される大規模災害からご自身やご家族の命を守るためには、地震に備えて普段から十分な準備をしておくことが大切です。積極的に地域の防災訓練に参加しましょう。

## 下田東中学校1年生が防災について職場インタビューを行いました

下田東中学校1年生が総合発表会で防災に関する劇を行うことになりました。実際の場面に即した場面設定や劇に取り入れる防災の役立つ情報入手のため、市民課防災係に職場インタビューを行いました。

自分たちの学校に地震がきたらどうなるか？どこに逃げればよいか？食料はどうするのか？など地図や資料を見ながら皆で話し合いました。



<発行元>

下田市役所 市民課防災係

☎0558-22-2215

✉shimin@city.shimoda.shizuoka.jp